尾瀬　中ノ岐沢北岐沢

2011 年 9 月 18 日（日）～19 日（月）
山本（L）、平本、早川、安藤（記録）

　頚城山塊で行われる秋の沢集中　天候が思わしくないと心配していたところ、斎藤さんから中止の知らせが届く。しかたがないと思っていたところに、山本さんから北岐沢へのお誘いがきた。尾瀬地方の天候は曇時々晴れ、遡行の難易度は 1 級上とのこと、ならばと参加する。

9 月 17 日（土） 8:30 自宅で早川車に乗る。橋本駅で山本さんと平本さんが乗車し、12:00 前に沼田IC近くの道の駅　白沢に着く。3 連休の中、車は多い。

9 月 18 日（日） 晴れ
　6:00 道の駅を出発し、一旦沼田IC方面に戻り、マクドナルドで朝食を買い、尾瀬・大清水に向う。前夜、山本さん希望の朝食である。
　8:00 大清水駐車場を出発。少し肌寒いが陽射しがある。中ノ岐沢の沢音を聞きながら、奥鬼怒林道を歩く。気持ちが良い。しかし、久しぶりの沢泊まり山行で、ザックは重い。
　9:30 入渓点である最初の大きなヘアピンカーブに着く。沢装備を着けて、背丈ほどの笹薮を分けて、沢に下りる。
　沢は両岸が立ち、陽が射しこまず、ちょっと暗い。釜をもった滝が続く。腰まで浸かることろもあったが簡単に滝上に出られる。ロープを出したところは 1 箇所 4 段10mの滝かな。
　11:05 大滝 15m 手前の広いナメのところで、休憩をとる。見上げる空は青く、台風や秋雨前線の影響は何処やら、山本さんの天候の読みは素晴らしい。
　11:30 大滝 15m に着く。ゴルジュの中、滝のしぶきが舞う。少し戻り、左岸を高巻く。

【　4 段　10m　】

【　大滝　15m　】

【　階段状　6m　】

ここからは、ナメ、ナメ滝が多くなり、ナメの上をヒタヒタと遡行するのが楽しい。黒い壁のような 6m 滝では、左の壁を登り遊ぶ。

13:45 1790m 奥二俣に着く。右岸に 8 畳程の平な場所があり、小石を除くだけで今日の泊まり場となる。薪も容易に集められるかを思ったが、倒木が少なく時間が掛かる。

15:00 少し早いが焚火を起こし、早川さんが作る玉ねぎとシーチキンの炒め物をつまみながら、飲み食いが始まる。ご飯もうまく炊き上がり、早川さんが用意したタレ漬けの牛肉、豚肉を焼いて食する。ご飯がすすむ。沢の夕食は鍋料理が多いがこれも良い。沢で食事を目的にする山行もいいのではとの話もでる。焚火を楽しみ、20:00 就寝する。

9 月 19 日（月） 晴れのち曇

5:30 今日も天気はよく、雨は降りそうにない。山本さんが作るたらこスパゲティーを頂く。

7:50 煙臭い沢装備を着け、奥二俣を出発する。沢幅は狭くなり、2、3 の滝を越えると、沢は水平になり、8:30 小松湿原に導かれる。湿原左の山に登っていくと、登山道にでる。早く登った私と早川さんは登山道を先に進んだが、猿沢への下降点を少し過ぎてしまう。登山道に出た所で二人を待つべきだった。

9:30 猿沢への下降に入る。沢形状を外さないルートをとるように指示される。ガレた所も少しあったが問題なく沢に降りられる。猿沢は北岐沢と比べると、沢幅が半分くらいで、沢が少し滑っていることを除けば良く似ている。

11:15 奥鬼怒林道に着き、2 時間ほどの林道歩きで大清水駐車場に戻る。

13:40 大清水を出発し、片品村 花咲の湯で汗を流し、早めの夕食を取ってから、本厚木に帰る。

天気に恵まれ、楽しい沢登り、沢下降が楽しめました。 山本さん、平本さん、早川さん、ありがとうございました。

【 楽しいナメ歩き 】

【 黒い壁 6m 】

【 小松湿原 】